中村　行雄さん　（岡山県新見市出身）
2015 年度 3 次隊　シニア海外ボランティア
派遣国：サモア　　職種：獣医・衛生
2017 年 4 月 2 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています

常夏の島で家畜を診療

ココナツ農園などで放牧されている牛たち

南太平洋に位置するサモアは青い海に囲まれ、ヤシの木が茂る、常夏の島国です。古くからの文化風習が残り、ゆったりとした時間が流れています。警察は拳銃を持たず、軍隊もない平和な国です。

子供が多く、職場に連れてくることも普通です。みんなで面倒を見ます。道を歩くと、知らない子供からマロ（こんにちは）と話し掛けられます。彼らの笑顔とキラキラ輝く瞳は、この国の宝です。残念ながら今の日本では見られません。

マタイと呼ばれる集落の長が大家族を治めており、大事件でない限りその村のもめごとはマタイが処理するそうです。例えば、罰として豚 1 頭を差し出すといったこともあります。

私の派遣職種は「獣医・衛生」。活動は主に家畜、時に犬猫の診療で、首都のあるウポル島より大きいサバイ島で唯一の獣医師です。ウポル島でも獣医師（サモア人）は 1 人ですが。

私の日本での診療経験は牛以外あまりなく、医療器具、薬品などが極めて限られる中、赴任当初は日本とはあまりにも違う点に戸惑いました。職場の助手に教えるというより、サモア式を教えてもらいながら活動している感覚です。

サモアに関する多彩な知識や経験、趣味、文化を持った国際協力機構（ＪＩＣＡ）をはじめ、他国のボランティア、地元の人たちなど幅広い年齢層との交流は日本では経験できない貴重なものです。残り 1 年のサモアンライフを、積極的に楽しもうと思っています。